



学校だより「杜の子」



市川三郷町立
上野小学校

発行者（文責）
校長 保坂 久信

6年「修学旅行」



「きょうりょく ～協力・興力・響力～ ・何事にも
団結して取り組む ・興味を広げ、最高の旅を創る
・感動が響き合う3日間にしよう」をテーマに、歴史・
科学・文化など、多くのことを学びながら、6年間ずっ
と一緒で過ごしている仲間27人全員で、楽しい思い出
をつくることができました。

1日目：鎌倉では、グループごとに事前学習で興味
を持った場所を訪れ、歴史や文化を学びました。長谷
寺、銭洗弁財天、葛原岡神社、佐助稲荷神社、鶴岡八幡
宮などにお参りし、おみくじも楽しみました。夕食は
横浜のレストランで、テーブルマナーを学びながら、
品良く、豪華で贅沢な時間を過ごしました。

2日目：国会議事堂の見学からスタート。東京タワ
ーでは、多くの児童が展望台までエレベーターを使わ
ず、外階段を上りました。高さ150メートル、約60
0段のアトラクションでした。その後は、昨年みさと
学で学んだ歌舞伎が上演される歌舞伎座の見学、上野
の国立科学博物館を巡りました。

3日目：最終日はキッザニア東京で職業体験。消防
士、地下鉄運転士、救急救命士、パイロット、
歯科医師、パティシエ、食品開発者、ピザ職
人など、さまざまな仕事を体験しました。



修学旅行を通じて、児童たちは集団としても、得た
ものが大きかったと思います。この経験を学校生活に
生かし、よい上野小をつくってほしいと思います。

◎～子供たちの声～◎

*鎌倉散策では、たくさん話をしながら、お土産を買
ったり、笑い合ったりして、楽しみました。 *キッ
ザニア東京では、働くことの楽しさがわかりました。
*東京タワーで、600段も階段を上って展望台に行
ったことがいい思い出です。 *国立科学博物館で
は、ミイラを見たり、恐竜の化石や骨格標本を近くで
見たりすることができました。 *いろいろなことを
パソコンで調べたけど、実物を見た方が歴史的な価値
がわかるし、そこで新たな疑問を持つこともできた。
*鎌倉の班行動で、「どっちへ行く?」「こっちじゃな
い?」と、相談しながら道を歩くことが楽しかった。
*キッザニアで仕事体験をして、いろいろな興味が広
がり、キッズもたくさん稼ぐことができた。 *鶴岡
八幡宮に感動した。 *本物の歌舞伎座は、想像以上
で驚いた。 *私たちの暮らしはここでしっかり、慎
重に、決められているんだなと思しながら国会議事堂
を見学した。 *教室で班活動するよりも、教室の外
に出て活動するときの方が協力できていて、みんなが
時間を守れた。係の仕事がさぼったり、別行動をしよう
とする人がいなかったことに感動した。 *国会議

事堂の天皇陛下の部屋や
議場、銅像など、写真だけ
ではわからないものも実
際に見ることができた。
*東京タワーは赤色だと思
っていたけど、オレンジ
色に近いことを知った。
*長谷寺の観音様に、感
動というより圧倒された。
金色で、とてもきれい
だった。



2年「町たんけん」



2年生は、生活科「町たんけん」に出かけました。目標は、3つです。「発見すること」「地域の人にあいさつしたり、質問したりすること」

「安全に行くこと」です。

表門神社、駐在所、八坂神社、矢作ふれあいプラザ、禅昌寺、みそじぞう、薬王寺、不動院、川浦地蔵、プール、三珠保育所、三珠中学校、学童、給食センター、郵便局、甲斐上野駅、身延線、芦川駅を3日かけて見学しました。地域を実際に巡る学びは、地域への興味・関心の向上につながります。教室で学んだものの実物に触れ、地域にお住まいのみなさまとの触れ合いを通して、子供たちは上野地区への愛着を大きくしていきます。中学卒業まで続く「みさと学」という市川三郷町のふるさとキャリア教育のスタートへのご協力、感謝いたします。今後とも、よろしくお願いいたします。

4年「社会科見学」



4年生は、5月26日（火）に社会科見学に出かけました。見学先は2つ。富士川町の「釜無川浄化センター」と中央市の「中巨摩広域事務組合清掃センター」です。「社会科の『ごみはどこへ』『水どこから』の学びを



深める機会となりました。水をきれいにする秘密、環境を守るためのごみ処理など、授業で学習した施設の様子を自分

の目で確かめたことで、子供たちの理解に実感が伴うこととなりました。

今回の学びは、社会の仕組みから環境問題、科学への興味までを網羅的に学ぶ機会でした。インフラの重要性と「当たり前」への感謝の気持ち、環境意識（SDGs）を「自分ごと」として捉えること、理科と社会科が結びつく「生きた学び」の体験といった意義ある時間となりました。

子供たちはこういった施設の見学を通して、獲得した知識と実社会を結びつけたり、新しい疑問と出会ったりしながら成長していきます。学習した事柄が実際に使われている場面に出会ったり、教科書の写真で見ていたものの本物を目にしたりしたとき、その学習は深い納得解にまで達するように思います。上野小学校では、教室と実社会を結ぶ学習を大切にしていきます。

「伸びよ 杜の子」～おもうこと～

～トーレイの早川様、一ノ瀬様より書籍の寄贈～
総合店舗システムを手がける甲府市の株式会社「トーレイ」様から図書が寄贈された。代表取締役社長の早川徳仁様と本校卒業生の専務取締役である一ノ瀬高志様に来校いただき、10冊の本が児童会長の小林葵さんに手渡された。



いずれも環境問題に関する書籍だ。子供たちの未来のために、環境問題について考え、対策を講じることは大人の責任である。私たちには、今、目の前にいる子供たちに、どう生きる背中を見せるかを意識する必要もあるだろう。「トーレイ」様からの寄贈を、子供たちのためだけでなく、私たち大人に向けてのメッセージでもあると受け取りたい。大人が未来を諦めず、よりよい選択を模索する姿を見せることは、子供たちへ意味ある贈り物となるはずだ。

